

衛生法規に関する知識（解答）

問1 クリーニング業法の目的について正しいものを一つ選び、○印を（ ）内に記入しなさい。（4点×1＝4点）

- 1 (○) 公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させる。（法第1条）
- 2 () 施設の改善向上、経営の健全化を通じ、もって国民生活の向上及び増進に寄与する。
- 3 () クリーニング師の技術向上を通じ、もって公衆衛生の向上及び増進に資する。
- 4 () クリーニング所における、洗たく物による感染症の発生予防とそのまん延の防止を図る。

問2 次の文の（ ）内に下記の語句の中から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。（4点×10＝40点）

- 1 クリーニング業とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の（ケ）又は（サ）を（シ）洗たくすることを営業とすることをいう。（法第2条第1項）
- 2 クリーニング所とは、洗たく物の処理又は（セ）及び（タ）のための営業者の施設をいう。（法第2条第4項）
- 3 クリーニング師の免許は、（イ）がクリーニング師試験に合格した者に与える。（法第6条）
- 4 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、（エ）及び（オ）をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。（法第3条第2項）
- 5 営業者はクリーニング所及び業務用の（カ）並びに業務用の機械及び器具を（ツ）に保たなければならない。（法第3条第3項第1号）

ア 厚生労働大臣	イ 都道府県知事	ウ 乾燥機	エ 洗たく機
オ 脱水機	カ 車両	キ 洗剤	ク 天然繊維
ケ 繊維製品	コ 化学繊維	サ 皮革製品	シ 原型のまま
ス 分解して	セ 受取	ソ 消毒器	タ 引渡し
チ 機能的	ツ 清潔		

(注) 1の(ケ)と(サ)、2の(セ)と(タ)、4の(エ)と(オ)はそれぞれ逆の解答も正解とする。

問3 次のA群とB群の事項で関係のあるものを線で結びなさい。(4点×5=20点)

- | A 群 | | B 群 |
|--|---|-------------------------|
| 1 クリーニング所を開設しようとするとき
(法第5条第1項) | • | 業務停止 |
| 2 クリーニング師が本籍又は氏名を変更したとき
(規則第8条) | • | 免許証の取り消し |
| 3 業務従事者が伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるとき
(法第9条) | • | 免許証の訂正の申請 |
| 4 免許証を破り、汚し、又は失ったとき
(規則第6条第1項) | • | 免許証の返納 |
| 5 クリーニング師が死亡し、又は失そう宣告を受けたとき(規則第10条第2項) | • | 免許証の再交付の申請
都道府県知事に届出 |

問4 次の文について、正しいものには○印、誤っているものには×印を()内に記入しなさい。(4点×5=20点)

- 1 (×) 洗たく物の取次店には、クリーニング師を1人以上置かなければならない。(法第4条)
- 2 (×) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後3年以内に法の規定による研修を受けるものとする。(法第8条の2第1項)(規則第10条の2)
- 3 (×) 営業者は、クリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、法律の規定に適合する旨の確認を受ける前に、そのクリーニング所を使用することができる。(法第5条の2)
- 4 (×) 洗たく物の苦情の申出先を利用者に明示することは、クリーニング業法で規定されていない。(法第3条の2第2項)
- 5 (○) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。(法第3条第1項)

問5 次の文は、法令で指定する洗たく物について述べたものです。下記の語句の中から正しいものを選びその記号を()内に記入しなさい。(法第3条第3項第5号) (4点×4=16点)

伝染性の疾病の(キ)による(カ)のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗たく物を取り扱う場合においては、その洗たく物は他の洗たく物と(オ)しておき、これを洗たくするときは、その前に(イ)することを原則とする。

ア 動物	イ 消毒	ウ 保管	エ 加熱
オ 区分	カ 汚染	キ 病原体	ク 梱包

公衆衛生に関する知識（解答）

問1 次の文の（ ）内に下欄から適切な語句を選び、その記号を記入しなさい。

（4点×10＝40点）

- 1 ウィンスローの定義の内容としては、公衆衛生は「（キ）の組織的な努力」を通じて行われる。公衆衛生の働きを推進していくための主体は、国、（エ）、組織化された地域社会や（ケ）などである。公衆衛生の主なねらいは（イ）し、生活環境を良好にして、（ク）を延長することである。
- 2 欧米においては、18世紀後半の（ウ）を契機とし、「（オ）と疾病と不潔とのあくことのない（コ）」を断ち切ることを目標に近代公衆衛生が始まった。
- 3 我が国は（ア）のために公害基本法をベースに平成5年（カ）を制定した。

ア 地球環境保全	イ 疾病を予防	ウ 産業革命	エ 地方公共団体
オ 貧困	カ 環境基本法	キ 共同社会	ク 寿命
ケ 職域社会	コ 循環		

問2 次の文について、正しいものには○印、誤っているものには×印を（ ）内に記入しなさい。

（4点×10＝40点）

- 1（×）総務省統計局資料「各年国勢調査報告」「平成18年10月1日現在推計人口」によると、我が国の平成18年の老年人口割合は、平成17年に比べて0.7%下降しており、人口の高齢化は停滞している。
- 2（×）総務省統計局資料「各年国勢調査報告」「平成18年10月1日現在推計人口」によると、我が国の平成18年の年少人口割合は、平成17年の15.0%から低下を続けている。
- 3（○）厚生労働省資料「人口動態調査」によると、我が国の出生率は、第2次大戦前は人口1,000人に対して約30人であったが、平成18年には8.7人に減少した。
- 4（×）死亡率は、その国の健康状態を示す重要な指標とはいえない。
- 5（○）我が国の平均寿命が年々延長しているのは、公衆衛生の普及向上によるものであるといえる。
- 6（×）厚生労働省資料「平成20年簡易生命表」によると、我が国の平成20年の平均寿命は、男女とも80歳を超えている。
- 7（×）環境保全行政は環境省が、学校保健、労働衛生は厚生労働省が担当している。

- 8 (○) 保健所は感染症の予防方法の普及に努めなければならない。
- 9 (○) 赤外線は太陽から発するばかりでなく、灼熱した金属や電気炉、ストーブなどからも放射されている。
- 10 (×) 人間の体重の2/3以上は水によって占められており、その1日の排泄量は平常時成人男性で約1,000ccといわれている。

問3 次のA群に関係あるものをB群から選び、その記号を()内に記入しなさい。

(4点×5=20点)

A群		B群
1	1類感染症 (c)	a、腸管出血性大腸菌感染症
2	2類感染症 (e)	b、カリニ肺炎
3	3類感染症 (a)	c、痘 ^{とう} そう
4	ヒト免疫不全ウイルス (b)	d、リハビリテーション
5	三次予防 (d)	e、重症急性呼吸器症候群 (SARS)

洗たく物の処理に関する知識（解答）

問1 次の文の()内に、下欄の中から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。




(4点×7=28点)

クリーニング業法では、クリーニングを「溶剤または(イ)を用いて衣類その他の繊維製品または(エ)を原型のまま洗たくすることを営業すること」と定義している。さらに、社会的要請の高度化により、クリーニング業はたんなる洗たく業から衣類の(カ)としての機能を果たすようになってきている。また、クリーニングを大別すると(オ)を使用するランドリー、ウェットクリーニングと(キ)を使用するドライクリーニングに分類される。クリーニング後の衣類はアイロン、(ウ)などにより形を整える。これをクリーニングでの(ア)という。

ア 仕上げ	イ 洗剤	ウ プレス機	エ 皮革製品	オ 水
カ 保全業	キ 揮発性有機溶剤等			

問2 次の絵は、家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の取扱い絵表示及びISOによるケアラベルである。()内に適語を記入しなさい。

(4点×4=16点)

	(ドライクリーニング)ができる。 溶剤は(石油系・石油系溶剤)のものを使用する。
	(漂白剤)による漂白ができない。
	低い温度設定であれば(タンブル乾燥・タンブラー乾燥)(乾燥機乾燥)ができる。

問3 次の繊維の分類について、A群とB群との関係の深いものを線で結びなさい。

(4点×5=20点)

A 群		B 群
天然繊維 (植物性繊維)	_____	麻
天然繊維 (動物性繊維)	_____	ポリノジック
化学繊維 (再生繊維)	_____	プロミックス
化学繊維 (半合成繊維)	_____	ポリエステル
化学繊維 (合成繊維)	_____	カシミヤ

問4 次の表は、ドライクリーニングにおける汚れの成分である。その除去方法を下欄の中から正しいものを選び、その記号を（ ）内に記入しなさい。

(4点×4=16点)

汚れの性格	汚れの種類	除去方法
① ドライ溶剤のみで落ちる汚れ(油性汚れ)	動物性油脂(人体からできる脂肪分等) 鉱物油(油グリース、ワックス等)	(ウ)
② 水やソープを使わないと落ちない汚れ(水溶性汚れ)	食塩、砂糖、デンプン、たんぱく質、果汁・スープ等の飲食物、汗尿等の分泌物	(イ)
③ 主として機械的作用で落ちる汚れ(不溶性固形汚れ)	ホコリ、砂、泥、セメント、毛屑 <small>くず</small> 、スス	(エ)
④ 薬品で落とす汚れ	ペンキ・染料などのシミ	(ア)

ア シミ抜き
イ 水、ドライ洗剤、(酵素)の乳化分散作用
ウ パーク、エタン、フロン、石油系溶剤の溶解作用
エ ドライ機の物理的作用

問5 次の文の()内に、下欄の中から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

(4点×5=20点)

絹和服の洗浄は、(ア)によるブラシ洗いに重点がおかれ、ワッシャーによる処理はすすぎを十分に行う程度にとどめる。

皮革のクリーニング使用溶剤として、(エ)・石油系溶剤がある。レザー(銀面表)や組み合わせ物は、溶解力の弱い(イ)で短時間処理する。加工剤などを含む(オ)をスプレーすると皮革の油脂分を補うだけでなく、薄くなった色も若干回復できる。

毛皮製品は、(ウ)による硬化と収縮、脱脂による毛根のいたみと毛艶の低下、格安品の染料溶脱と接着縫製部分の剥離はくなどの注意が必要である。

ア 石油系溶剤	イ ドライ溶剤	ウ 水
エ テトラクロロエチレン	オ 回復剤	